

× × ×

世界的の工學の大學者であります自分の研究を少しも講義されない、失禮な様ですが初めの間は此人は知つてゐるのだから知らないのだから、分らない風でした。然し其所が先生のエライ點で、自分で知つてゐる事を口から出さない。

つまり學問を云ふものを口から耳へ通じないで、學生の自發的研究に待つ、而して疑問を生ぜさせる、其疑問の多少や程度が其學生の熱心さを表はすのでありますから、毎日一種の試験をうけてゐる様なものです。然し先生が此の知つて居る事を言はないと云ふ事は實に苦痛であらうと想像致す様になりました。

× × ×

斯の様に研究生をして少しも依頼心を生ぜしめない様に、自發的研究をさせる、之が

昨年の秋だつた

私は車中で読んでゐた某新聞紙の支那に關する通信から次の記事を見付けた(岡崎生)

× × × ×

今度の革命最中、河南の北軍が敗退の際、最後に引上げた一旅團が、黄河の鐵橋を渡り終つて、南軍の追撃を防ぐ爲めに、將に鐵橋を爆破せんとした。此時一人の外國人で突如線路に飛び出し、大手を擴げて其爆破を遮り「どうか破壊は止めて呉れ」と嘆願したものがある。

然し追撃を避くる唯一の手段として北軍は容易に承知しなかつた、狂氣の様になつた此外人は、線路に跪き、神に祈りを捧げつゝ斯う叫んだ。「諸君が是非爆破しやうとならば、乞ふ、先づ自分の命を取つてからにして呉れ、己れは此橋の番人だ。此橋は自分の生命であるから、自分の命より先に此橋の生命の絶たれるのを見るに忍びない」と涙を以て訴へた。

土匪にも等しい敗軍の將卒も、此一外國人の身命を投げ出しての決心と熱情とに動かされて、終にそのまゝ爆破を思ひ止まつて退却した、此外國人とは京漢鐵道がベルギー借款に由つて建設された當時、其技師長として渡された伊太利人モリナツト君で

タルボット先生の教授法であります、而して疑問に疑問を重ねて遂に今迄の研究論文にない點迄も進めてやらせる、斯の如くして滿三年間私は先生の指導を受けましたが、師弟の情の厚い事も申す迄もありません。

× × ×

タルボット先生は現在すでに七十歳餘の老齡で學校の方は止められたが、尙時々研究室には出掛けられます。先生が學生時代の成績は大學四年間の平均點數が98點と云ふのを見ても如何に優秀な人であるかが知れます、數年前にアメリカの土木、鑛山、機械、電氣等の諸學會が聯合して先生の名譽を表彰する爲めにワシントン、アワードと云ふ賞牌を贈りました、斯う云ふ聯合の表彰と云ふ事は實に稀な事でありまして、タルボット先生が如何に知識徳望の高い人であるかを伺ふに足るものです。

あつた。一九〇六年、三十六歳で赴任した青年が、今日五十七歳の老人となつて尙黄河鐵橋を守つたのである。

× × × ×

當時(昨年三月)武漢は排外、打倒の中心地、勢ひ冲天の排外國熱の最中であつたが然も政府發行の機關紙はモリナツト君を極力稱揚した記事の結論として「斯云ふ外國人なぞ眞の支那の友人である」と最も大きな見出しで書き立てた。

外國人と云ふ字に特にコーテーションを付け、眞の友人だと當てつけた處は利己一點張の外人への皮肉であるが、同時に無差別の排外の共産黨政府への亦痛快な皮肉にもなつた。

要するに當時モリナツト君の一撃は、哀れなる一般外國人の爲めに萬丈の氣焰を吐いた大外交として、少からざる反響を與へた。

自分の作つた橋に對する愛着から一生を犠牲にして、橋番になり下つたと云ふ點にその情味以外に尊敬すべき心掛が認められるではないか。

コミツションさへとれば、儲けてさへ了へばそれでいゝと、跡は野となれ山となれ主義の人間が幾千人支那に入り込んでも結果は有害無益である。